

展覧会のお知らせ

常設展

「小川原脩 自伝風な展覧会－小川原脩＊どうぶつランドー」

展示作品の一部が入れ替わりしました。犬、馬、大白鳥が定番の小川原の動物作品ですが、エッコんな動物も描いていたんだという作品も登場します。

企画展

「想像する展覧会－不思議・ふしぎこの絵何だろう…?」

何を描いたのだろうか、考えてもよくわからない作品、不思議だなと感じる作品など、想像する楽しさを味わう展覧会です。2月11日（火）まで開催。

「くっちゃんART展2014」

倶知安をとりまく周辺で創作活動を行っている作家、この土地ゆかりの作家たちによる油彩、水彩、版画、陶、写真など多様な技法の作品展です。

会期：2月14日（木）～3月24日（日）

ロビー展

「山岡和之イラスト原画展」

会期：2月14日（木）～2月28日（木）

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

開館時間は9時～17時

（入館は16時半）

2月の休館日 5、12、13、19、26日

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

没後50年「木田金次郎と中谷宇吉郎」展開催中

「第18回ふるさとこども美術展」

2月2日（火）～2月17日（日）

冬のナイトオープン 20時まで開館します。

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

開館13周年記念

「風景との対話－北海道、パリ、沖縄－」開催中

第9回箱絵展（公募展）

2月14日（土）～3月17日（日）

「ステンシルに挑戦

－オリジナルデザインのTシャツを作ろう」

2月16日（土）13時～ 材料費 1,000円

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

冬期休館中

海と山と田園と－ミュージアムロード情報－

町長室から

新しい年、2013年が明け、あつという間に2月となりました。

色とりどりのウエアを着た人々が集まるひらふスキー場や、街中を走る除雪車など、いつもの倶知安町の冬の姿がそこにあります。除雪に汗を流している皆さんは大変なことと思いますが、「冬来たりなば、春遠からじ」です。

今月16、17日には、今年で25回目を迎える「雪トピアフェスティバル」が中央公園で開催されます。今年も名物イベントである「水面滑走トライアル」や「鍋大賞コンクール」など、倶知安ならではのイベントが目白押しとなっておりますので、熱気あふれるこのイベントにどうぞお越しく下さい。

現在、平成25年度予算の編成作業を行っております。厳しい財政状況が続いていますが、住民サービスの維持・向上のため取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。

まだまだ寒い日が続きます。風邪などに注意されるとともに、車を運転する人、歩行者も十分注意して、交通事故防止の意識を強くしていきましょう。

福島世二

絵本館 10～18時 (水曜休館)

公民館3階図書室

10～17時 (月曜休館)



『世界一おいしい火山の本』
林 信太郎
火山学者の林先生は火山も好きですがお料理も大好き!!そして日本の子どもたちに火山のことを沢山知ってもらいたいと思っていました。
そこで思いついたのは「ココアとチョコレートで溶岩ドームを作る」実験でした。火山のしくみを楽しく体験できますよ♪

今月のイチ押し絵本!

絵本館おはなし会 **こびとの森**
■日時/2月23日(土) 11時
■内容/
紙芝居 ひなまつりのお話
大型絵本 キャベツくん
パネルシアター おおきくおおきくおおきくなあれ
今月のおすすめ
トンネルをほる
ライアン・アン・ハンター
切り身の図鑑1・2
ちもくらぶ
チョコッキー ジョン・ウインタム
2月26日(火) 図書整理のため休館

図書室体験講座「手作りモビール講座」
■日時/2月28日(木)
■場所/公民館3階図書室
■時間/1回目 14時～15時
2回目 15時30分～16時30分
■定員/各回6名
■材料費/350円
■申し込み/2月15日(金) までに公民館(☎22-4151)へ
「モビール」とは?
: 素材を糸や棒で吊るし、バランスを取って安定するようにした飾り物。今回はフェルトなどで作った動物やマスコットで作ります。

今月の新着
残り全部バケーション
伊坂幸太郎
私と踊って
恩田 睦
人質 佐々木 譲
牽制 堂場 瞬一
真田三代風雲録 中村 彰彦
謎解きはディナーのあとで3 東川 篤哉
55歳からのハローライフ 村上 龍
心がわり 諸田 玲子
しょうがの味は熱い 綿矢 りさ
山本美香という生き方 山本 美香
2月28日(木) 図書整理のため休室

●夕食後のおやつは出来るだけゼロを目指そう!!●



昨年いきいきライフ検診を受けた方の食生活のアンケートを見ると、夕食後に何かを食べたりする習慣のある方が3人に1人おり、多くはアイスなどの甘い物でした。夕食後食べたらずっちゃん～、知っているけど1日終えてホッと一息つい習慣で食べてしまう…という人も多いのでは? 夕食後食べる習慣は肥満になり、肥満になると生活習慣病になりやすく、良い習慣ではありません。

食べてはいけないと考えると、食べたい気持ちがより一層強くなってしまいますので、食べたくなったら歯を磨く、食べるなら週1回にし、高級お菓子をごほうびにするなど、対処法を考えておくとう無理がないですね。

食べたい気持ちを上手にコントロールして、夕食後の間食も減っていくとよいと思います。

栄養士 小屋畑麻未



寒天には不足しがちな食物繊維が多く含まれています。カロリーも控えめなので、ぜひ作ってみてください。

◎ゼリーカップ◎ 材料 ゼリーカップ8個分

- ・粉寒天 2g (小さじ1/2杯) ・水 カップ2杯
- ・砂糖 大さじ3 ・果物 (いちご、キウイなど好きなもの)

- ①果物はゼリーに入れてキレイに見えるように、好きな形に切る。
- ②鍋に水、粉寒天、砂糖を入れて、ふっとうさせ、煮溶かす。
- ③器に果物、②の液を入れて冷やし、固まったら完成。

一個分 エネルギー 25kcal 砂糖 5g

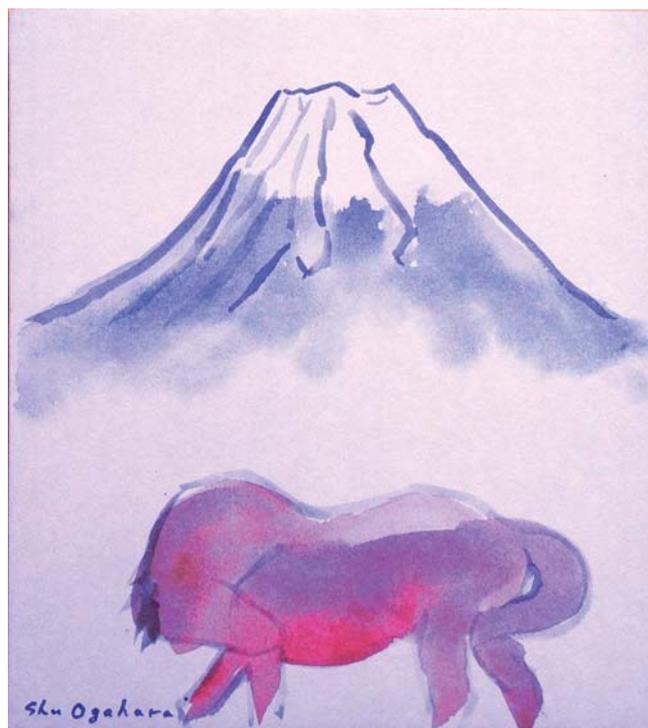
感動一点 の場

『羊蹄山・馬』（色紙）

年代不詳 小川原 脩画

小川原が育った時代、馬は畑を耕す、人や荷物を運ぶなど生活に欠かすことができない有用な家畜だった。1960年代、小川原のモチーフの主役は図体の大きな農耕馬である。当時はまだ街中でも荷台をくくりつけた馬を見ることができた。1970年代になると車社会にとって代わり、馬は街中から姿を消した。

小川原は「立方体の建築がその巨大さだけを誇っている今の大会の真ん中で、一切の交通を遮断して、ただ一人ペルシュロンの種馬にうちまたがって悠々と闊歩する姿を見る事が出来たら、これは又何と感動に充ちた奇観を呈する事だろう」と急激に変化する世の中を皮肉っている。



ふる探訪 さと

あの時代この時代

その43 『豪雪のまち』 昭和45年

359回



冬、日本海の湿った気流が北西の風に運ばれ、濃く過度に冷却された霧の粒を、ニセコの方々の山々の頂に吹きつけます。そのため倶知安地方には「これでもか」と雪を降らせませす。

倶知安測候所が昭和19年に観測を開始してから50年間の根雪の平均は1m90cmです。最も早く雪が降ったのは昭和44年10月6日、根雪が早かったのは昭和56年11月6日、雪が最も遅く降ったのは昭和52年5月18日という記録が残っています。風土館と美術館の間に立てられたコンクリートの壁は、昭和30年以降積雪が2m30cmを越えたときのその高さを表しています。なかでも、群を抜いているのは昭和45年3月に記録した

3m12cmもの積雪です。この時の年間降雪量は20mを越えました。

何と、この時には倶知安初めてのスキー国体が開かれ、全国から訪れた多くの人たちは雪の多さに目を見張ったそうです。この写真の北7条付近の住宅街は、煙突を残してすっかり雪に埋もれてしまいました。正面に見える小高い丘は、旭ヶ丘公園のようです。